

## 電子情報通信学会の オンラインジャーナルの取組 について

社団法人 電子情報通信学会  
出版事業部 水橋 慶  
2010年6月23日  
(SPARCセミナー)

1

## 電子情報通信学会について

- ・1917年(大正6年)創立
- ・会員数:約33,000名
- ・4ソサイエティ、1グループ制:  
基礎・境界(ESS)、通信(CS)、エレクトロニクス  
(ES)、情報・システム(ISS)、ヒューマンコミュニケー  
ション(HCG)
- ・支部:北海道、東北、東京、信越、北陸、東海、  
関西、中国、四国、九州の10支部
- ・海外セクション:  
Bangkok, Beijing, Korea, Shanghai, Singapore, Taipei

2

## 電子情報通信学会関係定期出版物



71研究専門委員会技術研究報告 (約9500件/年)

3

## 電子情報通信学会の論文誌

- ・電子情報通信学会和文論文誌  
4分冊(A,B,C,D) 年12回発行(1968年創刊)
- ・IEICE Transactions  
4分冊(Fundamentals, Communications,  
Electronics, Information and Systems)  
年12回発行(1976年創刊)
- ・IEICE Electronics Express (ELEX)  
毎月2回(10日と25日)発行 ペーパーレス速報誌
- ・Nonlinear Theory and Its Applications, IEICE  
季刊誌 2010年10月創刊予定

4

## 当時の論文事業の財政状況

- 投稿数が増える一方で伸びない部数
- 著者負担の原則（収入の柱は掲載料）
- 購読料は低く抑える方針

→掲載論文数が増えるほど財政を圧迫

5

## 冊子体からオンライン版へ

- 会員への主たる配布形態を冊子体からオンライン版へ移行
- 個人会員(2006年4月～)
- 法人会員（特殊員）  
試行開始（2006年10月～）  
本実施（2009年4月～）
- 同時にこれまで無料公開していたオンライン版を有料化、冊子はオプション

6

## 特殊員について

- 特殊員とは：本会の機関誌である論文誌をより安価に購読するための会員種別（大学図書館や企業図書室など）
- 特殊員の条件：学会誌に加え少なくとも一つのソサイエティの和英論文誌（オンライン版）の購読料をもって年会費とする。

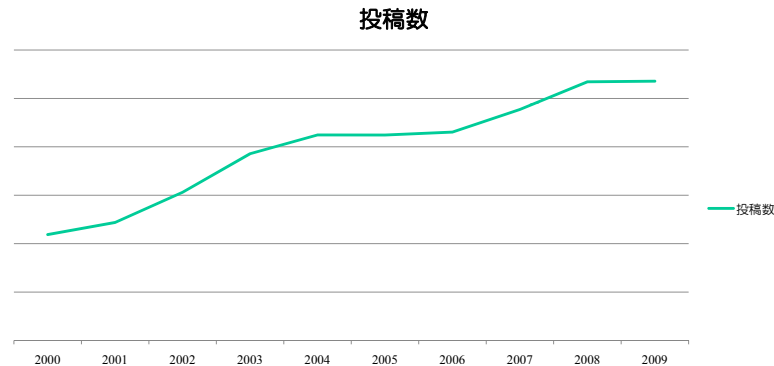
7

## 当時の購読価格について

- 特殊員会費  
（当時の条件：学会誌1誌+論文誌2誌以上）
- 学会誌2万円/年
- 和文論文誌6,000円/年
- 英文論文誌10,000円/年

8

## 英文論文誌（全分冊）の一般 投稿件数推移



9

## サイトライセンス試行

- IPアドレスによる機関認証
- 購読価格（特殊員会費）は試行期間中据え置き。
- 従来の冊子体の購読価格でオンライン版が閲覧可
- 試行期間（2006年10月～2009年3月）

10

## サイトライセンス本実施に向 けて

<2008年>

- SPARC JAPANからアドバイス
- 図書館コンソーシアム(JANUL/PULC)と複数回にわたる協議
- 機関のランク分け及び料金体系の決定

11

## サイトライセンス本実施へ

- 従量制（単純比例ではない）
- 冊子体はオプション価格
- ソサイエティ単位の登録→1ソサイエティに登録することで和・英論文誌それぞれ閲覧可。
- 2009年4月から開始

12

## 和・英論文誌の料金体系1

機関規模	Very small	small	medium	large
<利用規模等で区分>				
1ソサイエティ購読の場合	30,000	30,000	60,000	90,000
2ソサイエティ購読の場合	40,000	60,000	120,000	180,000
3ソサイエティ購読の場合	60,000	90,000	180,000	270,000
全ソサイエティ購読の場合	80,000	120,000	240,000	360,000
(単位：円)				

13

## 和・英論文誌の料金体系2

- 冊子体はオプション価格
- オンライン版を購読するソサイエティが発行する冊子体論文誌を購読する場合和・英を限らず
  - 1部目は20,000円
  - 2部目以上は1部30,000円

14

## IEICE Transactions Online の特徴1

- 同時アクセス制限なし
- Walk in userやVPNの利用可
- 機関毎に利用統計情報を提供
- 購読契約した時点で創刊号からの既発行論文の閲覧が可能（追加費用不要）
- ただし、解約後のアクセスは保障せず

15

## IEICE Transactions Online の特徴2

- 料金体系は3年ごとの見直し  
（図書館様の予算措置に配慮）
- 契約単位は1年ごと

16

## 参考URL

- ・電子情報通信学会HP

<http://www.ieice.org/jpn/>

- ・論文公開サイト

[http://www.ieice.org/jpn/trans\\_online/](http://www.ieice.org/jpn/trans_online/)

<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja/>

- ・特殊員入会のページ

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/hozin.html>